

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2024年7月28日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃 美 歌 7 「 主 の み い つ と 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃 美 歌 87B 「 恵 み の 光 は 」	一 同
教会学校	「 人 生 の 3 大 疑 問 」 ②	牧 師
讃 美	讃 美 歌 361 「 主 に あ り て ぞ 」	一 同
聖書朗読	使徒行伝13:1-3	
奨 励	使徒行伝の福音(第40回)	牧 師
主 題	「聖霊による出発」	
讃 美	讃 美 歌 405 「 神 と も に い ま し て 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃 美 歌 544 「 天 つ 御 民 も 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創世記第 26 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

7/28(日)聖日礼拝
/29(月)
/30(火)
/31(水)13:牧師折会
8/1(木)10:00聖研
/2(金)
/3(土)13-16子供オプンハウス



《折りの課題》

- ①家族の救いのために
- ②礼拝に来れなかった人々のために
- ③教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「折れない心をつくるには」

ささきみつお(国際弁護士)

「心が折れました、とても痛いです。もう立ち上がれません。」友人からメールをもらった。最近このような悲痛な叫びを聞くことが多い。愛する家族と決定的に別れてしまった場合が多いようだ。聞く度にこちらの心も痛む。

「心が沈んでます」とか「とても落ち込んでいます」と言われたら、沈んでいる心を励まして引き上げればいいのだ、落ち込んでいる心を慰めて持ち上げればいいのだと思える。でも、「心が折れました」と言われると、折れた心をどうやって直したらいいのだろうか。事実、心の折れた人を励め励まして立ち上がらせることは非常に難しい。時には長い年月がかかってしまう。

それでは、心が折れないためには、どうしたらよいのだろうか…。心が折れる前に「折れない心」をつくることではないかと思う。それは「愛する心」であると思う。…言い換えれば「いつも聖霊に満たされている心」である。

シカゴの弁護士ホレイショ・スバフォードは、大学教授、神学校理事を兼ね、世界的な伝道者ドワイト・ムーディの親しい友人であった。1871年のシカゴ大火で彼は全財産を失った。火災の直前には息子を病気で亡くしている。2年後、休養を取る必要を感じたスバフォードは、妻と4人の娘と一緒にヨーロッパ旅行の計画を立てた。ムーディのイギリスでの伝道を助ける目的もあった。出発直前に急用ができたため、彼は後から合流するつもりで家族を先に船に乗せて送り出した。ところが出航七日後、大西洋の真ん中で家族の乗った船は大型船と正面衝突し、226名を乗せたまま沈没してしまった。娘達はみな海に沈み、妻だけが助かる。彼はすぐに妻を迎えに行く船に乗り込んだ。愛する娘達が沈んだ場所に船がさしかかった時、一生懸命に平静を保とうと頑張ってきた彼の心は限界に達した。激しい心の痛みと極度の悲しみを抱えて寝室に入った彼は、神に対して一晩中泣き叫んだ。ところが絶望して泣き叫んでいた彼に突然、驚くべき聖霊の力が臨んだ。スバフォードは翌朝、次の詩を書きおろした：

「安けさは川の如く 心浸す時 悲しみは波の如くわが胸みたす時
すべてやすし 御神共にませば」(聖歌476番)